

## 🌸 私のメモに、

『2016・2・8(月)晴、古刹「東向山築田寺」に招かれる。私共の活動にご理解いただくためにとのこと。タランガッレ・ソーマシリ師に伝えると同行したいと云われた。寺庭(日本仏教曹洞宗寺院住職夫人をして呼称する)齋藤美智子様が園長を勤められた『社会福祉法人しぜんの国保育園』『成瀬くりの家』他等を見学後、檀家婦人手作りの料理に舌づつみを打ち、<sup>よもやま</sup>四方山ばなしが弾んだ。愛語の会『抱き人形』作業場に案内され殊の外感動する。感謝』

と記されている。この築田寺訪問に至ったのは、町田市国際交流センターがらみの恒例のイベント「夢広場」に<sup>まぎ</sup>紛れ込んだ2011年10月30日に機縁がある。温故知新の町田と周知されている通りを歩いていた私は、人盛りのする「ぼっぼ町田」で偶然、日本スリランカ友の会元会員T氏に出会った。畏まった風ではなかったが築田寺住職に紹介されたのである。「ネパールばかりでなく、スリランカに心入れを!!」とお願いしたのはその時のことである。まさか、数年後にこのようなかたちになろうとは。仏様のお導きに相違ない。

築田寺寺報「春号」に、2015年2月9日から



「愛語の会」の抱き人形製作活動現場を訪れたソーマシリ師

15日までの6日間、スリランカの旅が催行されたと載っている。そのツアー行程の中で平和寺とサママハヴィハラヤ住職ソーマシリ師と寺庭が初対面された。抱き人形の制作による二国間交流の主旨を伝え、同行したグループの協力と尽力で、スリランカの女性たちに制作指導されたとのこと。その際、両方で好感を抱きスリランカとの交流が続行可能だと感得されたのであろうか。寺庭である美智子さまは『社会福祉法人しぜんの国保育園』園長を定年退職後、美しい日本語を子どもたちに伝えていくためには、如何にすればよいかとお考えを持たれていらっしやう。

スリランカの女性たちとの共同で抱き人形を作り、優しい語りかけを伝えていこうと心に決められたのもその為である。そしてその目的で「愛語」グループと名付け活動がスタートした。因みに、この名称は日本仏教禅宗のことばである。四摂法の一つが愛語であり、慈愛の心に発し顧愛の言葉を施すことが示される。それによって徳を積み、生き方の姿勢を正しくして、幸せを実感できるようになる。仏の教えは日本もスリランカも同じである。寺庭の意志である美しい日本語を残すための語りかけの中には勿論、その仏心が込められている。

さて、抱き人形はかつての日本で好まれ、情操教育にも大きな役割を果たしていた。時代を重ねていくうちに、いつの間に消えていったのか。改めて、現在の発案者を辿れば横浜市都筑区に住まれる画家であると聞き及ぶ。前後したことをご寛容いただくとして、前記のツアーに同行されたT夫人を通して、抱き人形の型紙を書いていただき、その型紙を用いてスリランカで4,5体を製作されたとうかがっている。ともあ

れ、スリランカガンパハ市のサママハヴィハラヤ<sup>注</sup>縁<sup>ゆかり</sup>の女性たちが集い、約40センチ程の人形母体が縫われる。日本に運ばれて、築田寺縁の女性たち、幼稚園保育園のお母様たちやボランティア婦人たちによって、体内に綿が詰められ、髪、顔、洋服が着せられていく。服づくりには水玉、ストライプ、チェック、花、草木など多種の柄、模様が使われ、一体ごとに表情も趣も異なる世界にたった一つのお人形が完成する。

可愛いのでお年寄りにも喜ばれそうで、手に取ってみると園児たちに抱っこされおんぶされて丁度いい体重である。この体感が表情を安定させ、心地よさを感じさせる。医学的科学的に観て、子育てに効果があるようだ。加筆させていただくと、築田寺に於ける愛語グループの人形は、T夫人が運んで下さった型紙とは全く異なり、別人?のようにみえる程、創意工夫されている。作り手に任せることで、地域の高齢者方が集うようになって、多面的な効果を生んでいる。私自身、愛語グループの人形の魅力にとりつかれ、何体も買い求めた。この収益は国際支援のために使われ、2015年度10月、サママハヴィハラヤにミシン3台が寄贈されたとのこと。なんと清々しい行為ではないか。ボランティア活動による心の豊かさ<sup>まか</sup>がひしひしと伝わってくる。

苦言になるが、昨今、生活費を稼ぐボランティアビジネスが罷り通っている。活動リーダーの資質が問われる場合が少なくない。内容が欠如するのに証拠写真を撮っては羅列し、自らの肩書づくりやピーアールに余念がない似非活動者も多々いて淋しい。その観点からも、愛語グループへの活動は素晴らしい。一針一針に純粋な気持ちを込めている。手作りの抱き人形で遊んだ思い出が子どもたちの心の財産となり、温かな愛のある未来へ繋いでほしい。日本・スリランカ両国女性たちによる合作人形が両国の国際交流や支援を含



「愛語の会」メンバー作成の抱き人形たち

めた友好親善として、町田市の築田寺とスリランカのサママハヴィハラヤ、二つの寺院で「ビューティフル・ボランティア」による絆を深く強くすることが出来たらと思う。

注) ソーマシリ師を住職とするスリランカの寺院。日本名：平和寺。

## 「愛語の会」の活動

場 所：「東向山築田寺」(曹洞宗)

〒194-0035 町田市忠生2-5-33

活動日：毎週水曜日10時～3時頃

活動内容：築田寺に集まって抱き人形づくりをする。参加者は40歳～85歳。これまでに15か所以上の幼稚園、保育園に人形たちを送っている。

11月3日(祝)にぼっぼ町田のイベント広場で開催される、第19回 町田発国際ボランティア祭・2016夢広場でも販売します。お孫さんへのプレゼントは如何!?

1体1500円(収益は国際支援に使用)

問 合 せ：築田寺(りょうでんじ)

☎042-791-0602

